

**不安定な低賃金労働者への置き換えと外注化と下請化の攻撃！
御用組合は「会社の経営権事項」と全面容認！**

排水場の資材取扱運転課（MHO）に配属されている労働者たちは、トヨタの外注業者起用計画を前にして、心配している。正規一般労働者がトヨタ外の労働者に置き換えられることになるのだという。この課に働いている労働者たちは、強制的に別の部に配転されるというのである。御用組合（TMPCL O）が自分たちの組合員に対して説明をしないために、労働者たちはこの企みの陰にある危険を見て取ることが出来ないかもしれない。

TMPCL Oが課ごとに招集したある職場集会で内部労働者が携帯で撮ったビデオによれば、TMPCL Oの執行委員は、「下請化計画は会社の経営権であるから、労働者がそれによって影響を受けることがあってもTMPCL Oとしては留意しない。たとえ労働者たちがTMPCL Oの組合員であるからといっても、TMPCL Oの中心的組合員名簿には入っているわけではない」と、はっきり言っています。

「外注化と下請化」とは、強制的に仕事を外に出し、トヨタの仕事を低賃金の下請業者に与えることです。これが、トヨタがやろうとしている汚い計略の一つなのです。

最近、トヨタ社内では契約労働者化がますますきびしくなっていますが、TMPCL Oの執行委員たちは、これを阻止するために何もしないし、反対さえしていません。排水場と資材取扱作業課（MHO）でやられそうになっているように、労働者の正規の仕事がちびりちびりと取り上げられ、代理店や下請業者に回されてきました。

トヨタが発行している資料には、正規労働者と契約労働者の人数が同じになっていることが、はっきりと示されています。貴方は、生産ラインでほとんど正規労働者を見ることが出来ないはずですが、生産の労働者の大多数は契約労働者になっているからです。その仕事は正規労働者のやる仕事のはずです。事務所の一般労働者にも同じ事が起きています。エンジニアの仕事が、今では、契約労働者に回されつつあるからです。実習生の名目でも隠れた契約労働者が無責任に膨張していくのを、なすがままに許すべきではありません。

トヨタの正規一般労働者の状況は、TMPCL Oの手の中で、ますますきびしくなりつつあります。TMPCL Oの執行委員たちには、労働者のために闘う度量はありません。それどころか、労働者たちは、トヨタによってこしらえられた、ただトヨタの命令に従うだけの、役に立たない執行委員には、何も期待していま

せん。彼らには、トヨタがその労働者に対して何をしようとしているのか、その真の狙いを見抜く力さえありません。

トヨタの長期計画は、今や、外注化と下請化の陰に隠れて、少しずつ実行されているのです。トヨタの具体的な狙いは、すべての正規一般労働者を食いつくして、契約労働者に置き換え、トヨタ内部における真の労働組合主義を解消してしまうところまで持っていこうというところにあるのです。

トヨタ労働者は、トヨタのすべての汚い計略が存在し続けるのを許してはなりません。

T M P C L O とトヨタの結託による仕事の外注化と下請化の汚い計略を実行しようとする脅しと危険を、共に暴露し反対しよう！

契約労働者化でなく正規労働者化を！

フィリピントヨタ労働組合
**TOYOTA MOTOR PHILIPPINES CORPORATION
WORKERS ASSOCIATION (TMPCWA)**

2008年1月16日